

堺ゆかりの人々

堺市立北図書館では、平成 26 年 8 月 1 日から 31 日まで、「堺ゆかりの人々」と題したブックフェアを開催中です。

おなじみの人から、「えっ、この人も!？」という人まで、堺にゆかりの人々の関係資料を紹介します。

せんりのきゅう

千利休 1522(大永 2)年～1591(天正 19)年 (諸説あり)

納屋貸しによって富商となった魚問屋の田中与兵衛の長男として、堺の今市町に生まれる。舳松町に住む北向道陳に茶を学び、その後武野紹鷗に師事した。今井宗久の引き合わせにより織田信長の茶頭となり、信長の死後は豊臣秀吉の茶頭となるが、次第に対立し秀吉の命により切腹。

- 『千利休』 桑田忠親/著 宮帯出版社 2011 年 (郷土 791/2ク)
- 『千利休』「侘び」の創造者 平凡社 2008 年 (郷土 791/2セ)
- 『利休の風景』 山本兼一/著 淡交社 2012 年 (郷土 791/2セン)
- 『利休百首ハンドブック』 淡交社 2013 年 (郷土 791/2リキユ)
- 『利休と秀吉』 邦光史郎/著 集英社 2010 年 (郷土 913/2ク)

よきのあきこ

与謝野晶子 1878(明治 11)年～1942(昭和 17)年

堺市甲斐町の老舗和菓子屋の三女として生まれる。旧姓は鳳、本名は志よう。堺女学校卒業後歌作を始める。明治 33 年に創刊された雑誌『明星』の第 2 号に晶子の作品が掲載される。明治 34 年 6 月に上京し与謝野鉄幹と同居、8 月に『みだれ髪』を刊行した。

- 『堺発 与謝野晶子』 堺市立文化館与謝野晶子文芸館 2010 年 (郷土 706/2カ)
- 『与謝野晶子 年表作家読本』 平子恭子/編著 河出書房新社 1995 年 (郷土 911/2ヒ)
- 『与謝野晶子』 入江春行/著 笠間書院 2011 年 (郷土 981/2イロエ)
- 『みだれ髪』 与謝野晶子/著 角川春樹事務所 2011 年 (郷土 981/2ヨ)
- 『私の生ひ立ち』 与謝野晶子/著 学陽書房 1996 年 (郷土 B984/2ヨ)

いとうしずお

伊東静雄 1906(明治 39)年～1953(昭和 28)年

長崎県北高来郡諫早町に生まれる。昭和 4 年、大阪府立住吉中学校の教諭となる。詩作は大学卒業の頃から始め、昭和 10 年に初の詩集『わがひとに与ふる哀歌』を刊行。堺市北三国ヶ丘町の自宅は堺大空襲で焼失、黒山村北余部(現在の美原区北余部)に移転。

- 『伊東静雄と美原』 堺市立美原図書館 2011 年 (郷土 911/2イウ)
- 『伊東静雄と大阪/京都』 山本皓造/著 竹林館 2002 年 (郷土 911/2イウ)
- 『伊東静雄』 杉本秀太郎/著 講談社 2009 年 (郷土 911/2イ)
- 『伊東静雄詩集』 伊東静雄/著 小沢書店 1997 年 (郷土 911/2イ)
- 『伊東静雄日記』 詩へのかどで 伊東静雄/著 思潮社 2010 年 (郷土 985/2イ)

ぎょうき
行基

668(天智 7)年～749(天平 21)年

河内国大鳥郡蜂田郷家原村に生まれる。生家は堺市西区の家原寺。貧富の差なく広く仏法の教えを説き、数々の社会事業で民衆の暮らしを助けた。

- 『行基』 吉田靖雄/著 ミネルヴァ書房
『行基菩薩と向泉寺』 榎・向陵開発協議会
『堺の誇り 土塔と行基』 堺市

こにしゆきなが
小西行長

1558(永禄元)年～1600(慶長 5)年

堺で薬種商を営んでいた小西立佐(隆佐)の次男。豊臣秀吉に仕え、肥後国宇土 24 万石の領主となる。熱心なキリスト教徒として知られる。

- 『小西行長を見直す』 宇土市
『小西行長』 鳥津亮二/著 八木書店
『秀吉の交渉人』 永田ガラ/著
アスキー・メディアワークス

さかたさんきち
阪田三吉

1870(明治 3)年～1946(昭和 21)年

和泉国大鳥郡舳松村に生まれる。幼少の頃から将棋を好み、将棋界に一時代を築いた。昭和 30 年、日本将棋連盟から名人位・王将位を追贈される。

- 『孤高の棋士』 岡本嗣郎/著 集英社
『棋神・阪田三吉』 中村浩/著 小学館
『反骨の棋士 阪田三吉』 その栄光と苦難の道
舳松歴史資料館

あんざいふゆえ
安西冬衛

1898(明治 31)年～1965(昭和 40)年

明治 40 年に堺市錦之町に転居。昭和 4 年に第一詩集『軍艦茉莉』を刊行。昭和 10 年に「堺市歌」を作詩、これを機に堺市役所に勤務。

- 『評伝 安西冬衛』 明珍昇/著 桜楓社
『安西冬衛』 富山芳秀/著 未来社
『花がたみ』 安西冬衛の思い出
安西美佐保/著 沖積舎

みよしながよし
三好長慶

1522(大永 2)年～1564(永禄 7)年

和泉・河内の代官として堺を支配。広大な私邸は「堺政所」と呼ばれた。1557 年、長慶が父元長の供養のために南宗寺を落成させた。

- 『三好長慶』 長江正一/著 吉川弘文館
『三好長慶』 今谷明/監修 宮帯出版社
『戦国天下人三好長慶を語る』 三好長慶会

かわぐちえかい
河口慧海

1866(慶応 2)年～1945(昭和 20)年

現在の堺区北旅籠町に生まれる。黄檗宗の佐伯蓬山に師事。明治 30 年、日本人で初めてチベットに入り仏教原典等を日本に持ち帰った。

- 『河口慧海への旅』 高山龍三/著 勉誠出版
『評伝河口慧海』 奥山直司/著 中央公論社
『河口慧海日記』 ヒマラヤ・チベットの旅
河口慧海/著 奥山直司/編 講談社

かわいすいめい
河井醉茗

1874(明治 7)年～1965(昭和 40)年

堺市北旅籠町の呉服商の長男として生まれる。明治 34 年に初詩集『無弦弓』を刊行。中央図書館に醉茗作詩「ゆずり葉」の歌碑がある。

- 『商人大名小西行長 詩人河井醉茗』 春木吉彦
『醉茗詩鈔』 河井醉茗/著 岩波書店
『醉茗詩話』 河井醉茗/著
日本図書センター

おださくのすけ
織田作之助

1913(大正 2)年～1947(昭和 22)年

大阪市南区生玉前町に生まれる。昭和 14 年、結婚後、南河内郡野田村丈六(現堺市東区丈六)に新家庭を構えた。昭和 15 年『夫婦善哉』を刊行。

- 『織田作之助』 河出書房新社
『織田作之助の大阪』 平凡社
『夫婦善哉・怖るべき女』 織田作之助/著
実業之日本社



ほかにもたくさん…

堺にご縁のある方々



いえだしょうこ
家田莊子

作家。堺市在住。

『私を抱いてそしてキスして』 家田莊子/著 文藝春秋

いまいまさこ
今井雅子

脚本家。堺市出身。堺親善大使。

『子ぎつねへレン』ノベライズ&フォトブック 今井雅子/著 東京ニュース通信社

かたおかあいのすけ

片岡愛之助

歌舞伎役者。堺市西区出身。堺親善大使。

『愛之助』片岡愛之助写真集 源賀津己/撮影 ぴあ

かわさききよせん

川崎巨泉

おもちゃ絵画家・郷土玩具収集家。現在の堺市堺区神明町に生まれる。

『和のおもちゃ絵・川崎巨泉』 森田俊雄/著 社会評論社

きしたにせいぞう

岸谷勢蔵

郷土画家。現在の堺市堺区大町東に生まれる。

『堺の風物史』 岸谷勢蔵/著 堺青年会議所

くさかべよう

久坂部羊

医師・小説家。堺市在住。

『ブラック・ジャックは遠かった』阪大医学生ふらふら青春記 久坂部羊/著 104B

くろさきみどり

黒崎緑

小説家。堺市在住。

『ワイングラスは殺意に満ちて』 黒崎緑/著 文藝春秋

さいとうしのぶ

絵本作家。手作り絵本サークル主宰。堺市在住。

『よーい よーいよい』 さいとうしのぶ/作・絵 ひさかたチャイルド

さいとうたかを

マンガ家。少年時代は堺の福泉ですごす。堺名誉大使

『おれの後ろに立つな』さいとうたかを劇画一代 さいとうたかを/著 新潮社

さわだとしこ

沢田俊子

児童文学作家。堺市在住。

『盲導犬不合格物語』 沢田俊子/著 学習研究社

しばさきともか

柴崎友香

小説家。大阪府立大学総合科学部国際文化コース卒。

『その街の今は』 柴崎友香/著 新潮社

しませいえん

島成園

日本画家。堺市熊野町東に生まれる。

『島成園と浪華の女性画家』 島成園ほか/画 東方出版

^{しまのよしそ}
島野喜三 自転車・釣り具メーカーシマノ（本社堺市）の最高顧問。
『堺から世界へ 私の履歴書』 島野喜三/著 日経事業出版センター

^{じょう}
城みさを さをり織りの創始者。堺市出身。
『さをり織り』好きに好きに織る 城みさを・城英二/著 ぶどう社

たかいよしかず イラストレーター。堺市出身。
『キャラクターデザインの仕事』 たかいよしかず/著 大日本図書

^{なかたにあきひろ}
中谷彰宏 作家・俳優。堺市西区出身。「堺・教師ゆめ塾」塾頭。
『面接の達人』 中谷彰宏/著 ダイヤモンド社

^{なんぼとしそ}
難波利三 小説家。与謝野晶子倶楽部会長。堺市在住。
『難波利三 私の大阪散歩』 難波利三/著 山と溪谷社

^{にしかなこ}
西加奈子 小説家。堺市南区の泉北ニュータウンで育つ。
『通天閣』 西加奈子/著 筑摩書房

^{はしだすがこ}
橋田壽賀子 脚本家・劇作家。堺市西区出身。
『渡る世間は鬼ばかり』 橋田壽賀子/著 集英社

^{ひがしのけいご}
東野圭吾 小説家。大阪府立大学電気工学科卒。
『あの頃ぼくらはアホでした』 東野圭吾/著 集英社

^{ふじもとぎいち}
藤本義一 小説家・放送作家。堺市出身。大阪府立大学経済学部卒。
『蛭の宿 わが織田作』 藤本義一/著 中央公論社

^{まえだちくぼうさい にだい}
前田竹房齋（二代） 竹芸家。人間国宝。現在の堺市中区平井に生まれる。
『堺市所蔵 人間国宝二代前田竹房齋作品選』 前田竹房齋/作 堺市国際文化部

^{まちだこう}
町田康 詩人・小説家。堺市出身。
『きれぎれ』 町田康/著 文藝春秋

^{まやまじん}
真山仁 小説家。少年時代は堺市北区ですごす。
『ハゲタカ』 真山仁/著 講談社

^{やまさきとよこ}
山崎豊子 小説家。堺市西区浜寺昭和町のすまいで、亡くなるまで執筆活動を続けた。
『大阪づくし 私の産声』山崎豊子自作を語る2 山崎豊子/著 新潮社

^{やまもとようこ}
山本容子 銅版画家。子ども時代は浜寺ですごす。
『おこちゃん』 山本容子/著 小学館

